

# 三重大学医学部附属病院

住所：〒514-8507 三重県津市江戸橋2-1 7 4

TEL：059-232-1111

HP：<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/>



リハビリテーション科医師（2022年11月現在）

責任者：科長・教授・専門医・指導医 百崎良（慈恵 H16 卒）

総病床数：685 床，診療科・センター数：74

理学療法士 7 名，作業療法士 3 名，言語聴覚士 4 名



## 責任者からのコメント

三重県唯一の大学病院・特定機能病院で、急性期リハビリテーション、嚥下診療、ボトックス治療、義肢装具療法、Evidence-based approach に力を入れて診療・教育・研究を実践しています。

医学的診断・治療にもとづきリハの効果を高めるのがリハ医の重要な使命です。またリハ医療は患者さんのニーズから始まるもの、患者さんを大切にしている人であればやりがいには困らないと思います。医学的にリハのアウトカムを底上げするために必要なアプローチ方法を学んで頂けたらと思います。

## 研修病院としての特徴

### 1. 経験できる疾患・リハ

当院は三重大学の附属病院です。救命救急センターでの急性期リハ、がん患者に対する周術期リハ、脳卒中に対する包括的リハ、嚥下障害に対する評価・訓練・栄養管理、外来での心リハなどが多く、専門医受験に必要な疾患のリハに関して網羅的に経験することができます。また外来でのボトックス療法、義肢装具療法、入院患者に対する嚥下内視鏡検査の件数が多いです。脳神経内科・外科、循環器内科、肝胆膵外科、小児がん、ICUの患者に関しては定期的にカンファレンスや勉強会等行っており、摂食嚥下チーム、NSTの活動にも積極的に参加して頂きます。

### 2. 経験できる技能・技術

急性期リハビリテーションにおける安全管理やマネージメントを学ぶことができます。摂食嚥下診療においては嚥下内視鏡検査等の嚥下機能評価方法と食形態指導・栄養指導等を習得できます。ボトックス診療においては超音波や電気刺激装置を用いた上下肢痙縮に対するボトックス注射について学ぶことができます。義肢装具外来では適切な義肢装具の処方の方について学びます。また、データ解析・論文執筆等の基本的な研究スキルやエビデンスに基づきリハ医療の実践方法といったエビデンスの作り方・使い方についても習得することができます。



大学病院でありながら、かなりアットホームな雰囲気であり、他診療科との連携も良好で、楽しく研修ができると思います。大学病院ということもあり、リハ部の療法士の多くは三重大の大学院に進学しており、科研費を取得して研究している方もいます。アカデミックな環境で、充実した研修を保証します。



三重大学医学部附属病院